

桃山文化

名称と時期 1. 桃山 文化 16世紀後半 織豊政権期 ※桃山=伏見城跡

特色 ①仏教色が薄い <例>城の文化、町衆の文化 ※延暦寺など大寺院の衰退

②大名・豪商中心 → 雄大・豪華な文化

建築 城郭…大名の居館・政庁 2. 天守閣 は権力の象徴 内部は書院造
ひらやまじろ

※主流は3.山城から平山城・4.平城へ…人工的防備(石垣、濠、土塁など)

<例>二条城・松本城・犬山城(現存最古の天守閣)・5.姫路城(白鷺城)など…現存

6.聚楽第(秀吉)→(移築?) 7.大徳寺唐門、8.西本願寺飛雲閣

9.伏見城(秀吉)→(移築) 10.都久夫須麻神社本殿、西本願寺唐門(?)

その他 西本願寺書院 醍醐寺三宝院書院・庭園、11.妙喜庵待庵

絵画 12.障壁画 (障屏画)…屏風・襖・障子に描かれた絵画 13.狩野派が中心

14.濃絵 …金碧(画面に金箔)や濃彩(群青・緑青など厚塗り)の画法

<例>15.狩野永徳 「16.唐獅子図屏風」 「17.檜図屏風」

18.狩野山楽「牡丹図」 19.長谷川等伯 「20.智積院襖絵」(→長谷川派)

水墨画 <例>21.長谷川等伯 「22.松林図屏風」 23.狩野山楽 「24.松鷹図」

25.海北友松 …「26.山水図屏風」 「牡丹図」 「桜花図」 →海北派

風俗画…庶民生活に題材 狩野派が多い

<例>27.洛中洛外図屏風(上杉本) (28.狩野永徳) 29.花下遊楽図屏風(狩野長信)

高雄観楓図屏風(狩野秀頼) 豊国祭礼図屏風(狩野内膳)

工芸 30.欄間(鴨居と天井の間の格子)彫刻 31.透し彫 32.高台寺時絵…秀吉夫妻遺愛の調度(金時絵装飾品)

芸能 33.出雲阿国…34.かぶき踊り(「35.阿国歌舞伎」)を始める →36.女歌舞伎の流行

…出雲大社の巫女 …… 女性の男装など特異な風俗で踊る

37.隆達小歌…38.高三隆達(堺の薬商)が節をつけた小歌 伴奏は扇拍子や尺八

39.三味線 の登場…胴に猫皮を張る 日本特有の楽器 三線(琉球伝来)を改良

→伴奏 <例>40.浄瑠璃節…語り物 →41.人形浄瑠璃(人形操りとの組み合わせ)

茶道 42.北野大茶会[1587]…北野天満宮 秀吉、身分・貧富の別なく参加 “黄金の茶室”

日本陶器の再評価 <例>瓦職人長次郎を指導 →43.楽焼[京都]の発祥

44.千利休 (宗易) …堺の豪商 紹鷗に師事 “三宗匠”(45.今井宗久・46.津田宗及)

47.侘び茶(簡素・閑寂)と草庵茶室を完成 信長・秀吉に仕える(のち切腹) 48.千家の祖

…… <例>49.妙喜庵待庵

→弟子に、50.織田有楽斎(信長の弟 茶室 如庵)・53.古田織部ら

生活 の { (衣) 男は肩衣・袴、女は腰巻・打掛 51.小袖 の流行 52.染織の一般化 男女とも結髪
 変化 { (食) 1日3食・間食、味噌・醤油の出現 (住) 二階建・53.瓦屋根の普及

朝鮮文化の輸入 ←秀吉の朝鮮侵略

- ・⁵⁴木綿の種子→国内栽培の発達 ・⁵⁵活字印刷術→書籍の出版 <例>⁵⁶慶長勅版(⁵⁷後陽成)
- ・⁵⁸朝鮮人陶工を連行→西国各地で“⁶⁰お国焼”の発達
<例>⁶¹有田焼(鍋島)←陶工⁶²李参平 別名⁶³伊万里焼 ⁶⁴萩焼(毛利)←李敬
⁶⁵薩摩焼(島津)、平戸焼(松浦)、高取焼(黒田)、上野焼(細川)など

南蛮文化

- 美術 「⁶⁶南蛮屏風」「世界図屏風」「^{たいせい}秦西王侯騎馬図屏風」…日本人画家による 油絵・銅版画の技法
- 学問 天文学・地理学・医学などを伝える
- 教育 ⁶⁷セミナリオ…神学校 安土など ⁶⁸コレジオ…宣教師養成大学 豊後府内など
⁶⁹南蛮寺…仏教寺院風に建てられた教会 山口・京都など
- 活字印刷 ⁷⁰ヴァリニャーニが伝える →⁷²天草版(キリシタン版)の発行
<例>『⁷³天草版平家物語』、『天草版伊曾保物語』(イソップ物語)、『日葡辞書』
『どちな・きりしたん』(教義書)、『ぎゃ・ど・ぺかどる』(宗教書)
- 風俗など 喫茶、南蛮風の衣食 南蛮語 <例>カステラ・カップ・カルタ・コンペイトウ・タバコ

【正誤問題に挑戦】<センター1990追試験、1991本試験より>

- (1) 茶の湯を大成した千利休は京都の富裕な町人で、彼の作った茶室は書院風の建物として知られている。
- (2) 朝鮮出兵の際に大名たちが朝鮮の陶工を連れ帰り、のちの薩摩焼や有田焼などの基礎をつくった。○